

令和5年度  
学生募集要項

医学部  
学校推薦型選抜



北海道公立大学法人  
札幌医科大学

問い合わせ先

〒060-8556

札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学事務局学務課入試係

電話011-611-2111（内線21830・21840）

8:45～17:30（土・日・祝日を除く。）

\*問い合わせは、やむを得ない場合を除き入学志願者本人が行ってください。

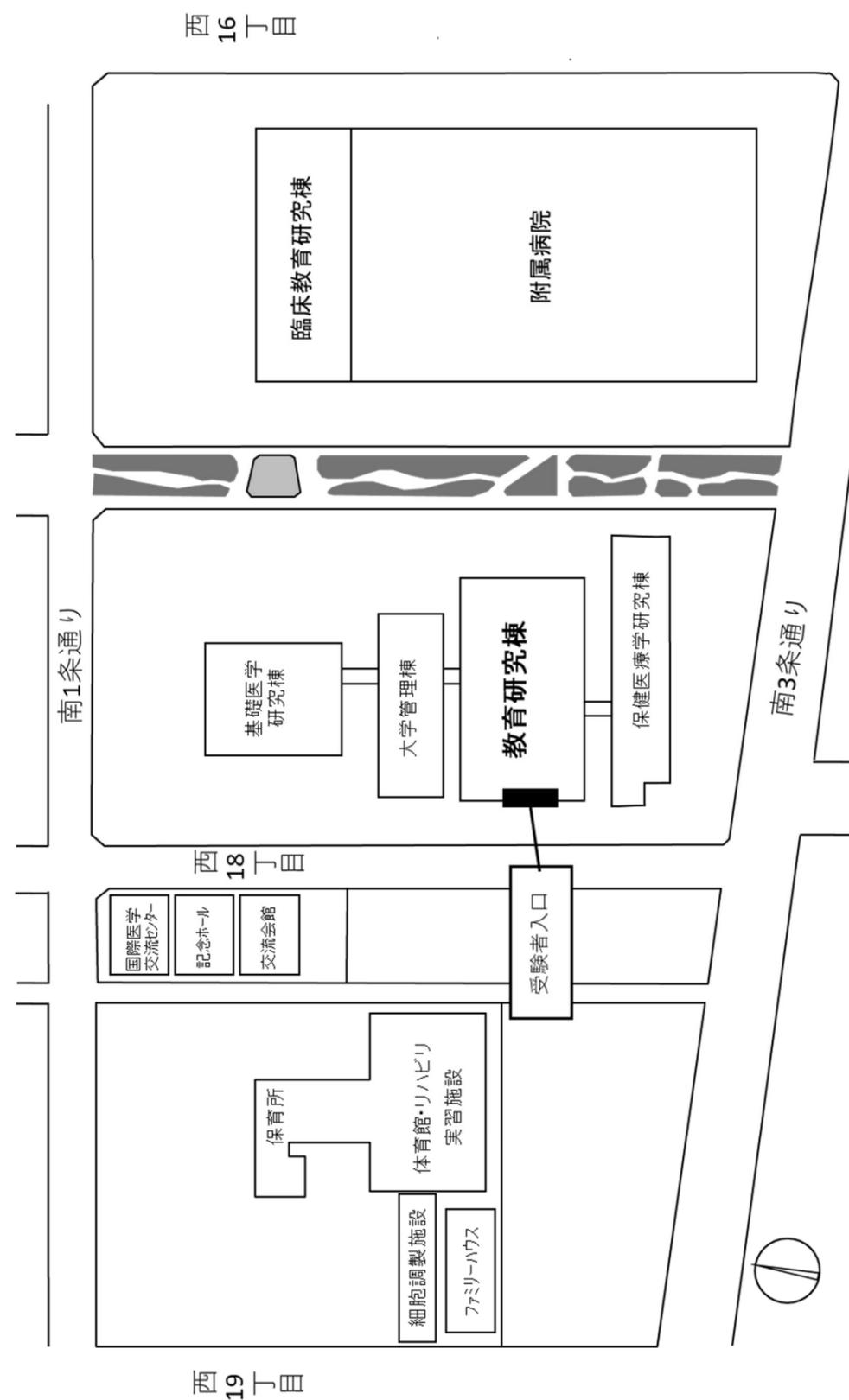
# 目 次

建学の精神・理念・アドミッションポリシー	1
1 趣 旨	3
2 募集人員	3
3 出願資格	3
4 出願枠	4
5 入学者の選抜方法	5
6 出願手続等	5
7 身体等に障害のある入学志願者との事前相談	8
8 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	8
9 第2次試験の実施教科・科目等	9
10 教科の配点	9
11 入試過去問題の活用	10
12 第2次試験の実施日等	10
13 学校推薦型選抜と一般選抜への出願	11
14 合格者の発表	11
15 入学手続	11
16 入学辞退	12
17 受験に当たっての留意事項	12
18 その他の留意事項	13
19 個人情報の取扱い	13
20 修学のための費用	14
21 札幌医科大学後援会について	14
22 その他特記事項（新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施内容等の変更等について等）	15
推薦理由書記入上の注意	16
入学願書記入上の注意	17
23 令和7年度札幌医科大学入学選抜における利用教科・科目について（予告）	18

## 出 願 用 書 類

綴 じ 込 み	出願用書類入封筒内
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学願書</li> <li>  先進研修連携枠 (ATOP-M) …… 浅黄色</li> <li>  特別枠 …… びわ色</li> <li>・ 推薦書 (先進研修連携枠 (ATOP-M) ・ 特別枠共通)</li> <li>・ 推薦理由書 (先進研修連携枠 (ATOP-M) ・ 特別枠共通)</li> <li>・ 自己推薦書 (特別枠)</li> <li>・ 確約書 (先進研修連携枠 (ATOP-M))</li> <li>・ 確約書 (特別枠)</li> <li>・ 出願用書類入封筒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 払込取扱票</li> <li>・ 封筒大【願書送付用】</li> <li>・ 封筒小【第1段階選抜結果通知用】</li> <li>・ あて名票</li> </ul>

## 札幌医科大学配置図



※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。  
 受験票送付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。

## 募 集 人 員 ・ 日 程 等

	学校推薦型選抜	
募 集 人 員	先進研修連携枠 (ATOP-M) ※	特 別 枠
	2 0 名	1 5 名

※先進研修連携枠 (ATOP-M : エイトップ エム Advanced education and training opportunities program for medical students)

願 書 受 付	令和4年11月21日(月)～令和4年11月25日(金)
第1段階選抜結果発表	令和5年1月5日(木)
受 験 票 発 送	令和5年1月5日(木)
第 2 次 試 験 日	令和5年2月1日(水)
合 格 者 発 表	令和5年2月14日(火)
合 格 通 知 書 発 送	令和5年2月14日(火)
入 学 手 続	令和5年2月15日(水)～令和5年2月20日(月)

※ 新型コロナウイルス感染症に罹患等した入学志願者の受験機会を確保するため、追試験を設定します。  
詳細については裏ページをご確認ください。

## 第2次試験の追試験の実施について

令和5年2月1日(水)に実施する第2次試験(以下、「本試験」という。)について、新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、追試験を設定します。

### (1) 対象者

- ・ 新型コロナウイルスに罹患し、本試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
  - ・ 発熱・咳等の風邪症状がある者
  - ・ 本試験日の検温で37.5度以上の熱がある者
  - ・ 保健所等から濃厚接触者として特定され本試験前日までに健康観察期間が終了していない者(※)
- ※ 濃厚接触者については、自治体の初期スクリーニングの結果が陰性、本試験当日も無症状、公共交通機関を利用しない自家用車等による移動等により、受験を認める場合があります。
- ※ 濃厚接触者の疑いがあるものの、保健所が濃厚接触者の特定を行わない場合等は、無症状である場合限り、受験が可能です。

### (2) 第2次追試験日 令和5年2月8日(水)

(3) 実施教科・科目等、合格発表、入学手続き等は本試験に準じます。

(4) 追試験についての追試験はありません。

### (5) 追試験の申請

上記(1)に該当する事由による追試験の受験申請は、下記の申請受付時間内に限りすることができます。申請受付時間経過後は、いかなる理由があっても追試験の受験申請をすることはできません。なお、本試験日に、1つの科目でも受験した者は、追試験の対象となりません。

#### ① 申請受付時間

令和5年1月27日(金)～1月31日(火) 9:00～17:00 (土日を除く)  
令和5年2月1日(水) 8:00～10:30

#### ② 申請方法

- ア. 申請受付時間内に本人または代理人が、本学問い合わせ先に電話により疾病の状況を連絡し、指示を受けてください。
- イ. 追試験受験申請にかかる書類等について、FAX等により送付していただきます。
- ウ. 審査により受験が許可された場合は、追試験受験許可書が交付されます。

#### 問い合わせ先

札幌医科大学事務局学務課入試係  
電話011-611-2111(内線21830・21840)

**※ 感染状況及び国や自治体の方針などにより取り扱いは変更することがあります。変更は本学ホームページでお知らせします。**

## 建学の精神・理念・アドミッションポリシー

北海道が設立した北海道公立大学法人 札幌医科大学は、北海道の地域医療に貢献する医療人(医師、看護師、理学療法士、作業療法士)を育成するという北海道民の強い要請に応え、次のとおり建学の精神及び理念を掲げています。

### 【建学の精神】

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

### 【理 念】

人間性豊かな医療人の育成に努めます  
道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します  
国際的・先端的な研究を進めます

### 【アドミッションポリシー】

札幌医科大学では、カリキュラムに沿った学修によってディプロマ・ポリシーに示す水準を満たすことができる学生を求めています。そのため、高い基礎学力、文化や社会に関する基礎知識、基本的なコミュニケーション能力と協調性、自己教育の意欲と習慣を備えた学生を受け入れます。

医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的研究を通じて世界に貢献できる研究医を育てます。そのため、次のような資質を有する学生を求めます。

1. 命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある人
2. 他者を理解しようという意欲と奉仕の精神、倫理観を持っている人
3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人
4. 医学・医療を学ぶにふさわしいコミュニケーション能力、協調性及び想像力を持っている人
5. 地域社会への興味・関心を持ち、北海道に貢献する意志を持つ人
6. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

## ○入学までに身につけておいてほしいこと

### 1. 高等学校で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力

1) 医学を学習するための基礎学力：生命科学としての医学を学習するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。

2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識：医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。

### 2. 自ら課題を探求し、問題を解決する学習習慣

医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。

### 3. 自主的、協調的な態度と行動

チーム医療なしには医療は実践できません。医師は医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。

### 4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣

人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず自分の健康に心がけ、基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

## 1 趣旨

札幌医科大学では、選抜方法の多様化を図り、併せて学力偏重の弊害を防ぐことを目的として、一般選抜に加えて学校推薦型選抜により入学者を選抜しています。

人間性豊かで創造性と自主的精神に富み、地域医療への理解と国際性を兼ね備えた医師・医学研究者となるにふさわしい入学志願者を、北海道内の高等学校長又は中等教育学校長から推薦していただくものです。

## 2 募集人員

学部・学科		募集人員	
		学校推薦型選抜	
		先進研修連携枠 (ATOP-M)	特別枠
医学部	医学科	20	15

先進研修連携枠 (ATOP-M) と特別枠の趣旨と要件、入学後から卒後のキャリア形成については、本学ホームページ (医学部入試枠・卒後必修プログラム) 並びに大学案内冊子 LEAP を参照してください。



特別枠の募集人員の15人には、厚生労働省へ認可申請した、令和5年度医学部医学科入学定員の臨時増員 (8名) が含まれており、令和5年度までの時限措置となります。

## 3 出願資格

### (1) 先進研修連携枠 (ATOP-M)

北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して道内に在住する者で、次のすべての要件に該当し、卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者

なお、推薦できる人数は1つの高等学校又は中等教育学校につき3名以内とし、特別枠と重複して推薦を受けることはできません。

ア 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評で○A又はA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者  
イ 令和5年度大学入学者選抜大学入学共通テスト (以下「大学入学共通テスト」という。) において、**本学が指定した5教科7科目を受験する者**

ウ 医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修 (以下「初期臨床研修」という。) を修了後、**所定のプログラム※ (卒後の必修プログラム) に従事することを確約できる者**

エ **合格した際に入学を確約できる者**

※ 「**所定のプログラム**」とは、卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する**国内外**の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。このプログラムでは、北海道の医学・医療において指導的・中核的役割を担える医師の育成を目指します。

## (2) 特別枠

北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和4年3月以降卒業又は令和5年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して道内に在住する者（ただし、既卒者にあつては、出願時の住所が道内・道外を問わない）で、次のすべての要件に該当し、卒業又は卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者。

なお、推薦できる人数は1つの高等学校又は中等教育学校につき3名以内とし、先進研修連携枠(ATOP-M)と重複して推薦を受けることはできません。

- ア 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評で○A又はA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者
- イ 大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した5教科7科目を受験する者**
- ウ **本学を卒業後、道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を知事が指定する公的医療機関等で勤務することを確約するとともに、修学資金制度を承知している者**
- エ 合格した際に入学を確約できる者

## 4 出願枠

先進研修連携枠(ATOP-M)と特別枠の併願はできません。どちらか一方への専願となります。

### (1) 先進研修連携枠(ATOP-M)

- ア 出願に当たっては、初期臨床研修修了後、**所定のプログラム(卒後の必修プログラム)に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書**並びに卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長から推薦書、推薦理由書等の提出が必要です。
- イ 先進研修連携枠(ATOP-M)には、修学資金貸与制度はありません。

### (2) 特別枠

- ア 出願に当たっては、入学志願者からの自己推薦書、**卒業後一定期間北海道の地域医療に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書(注)**並びに卒業又は卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長から推薦書、推薦理由書等の提出が必要です。
- イ 特別枠の入学者全員を対象として北海道医師養成確保修学資金(大学の入学料及び授業料に相当する額並びに月額12万円)が北海道から貸与されます。

**(注) 修学資金の貸与に当たっては、本学を卒業後、道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を知事が指定する公的医療機関等に勤務することが義務づけられており、出願時に札幌医科大学学長に対し、確約書の提出が必要です。**

- ウ 勤務先の医療機関の範囲等、その他修学資金に関する問い合わせ先は次のとおりです。

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 電話011-204-5214

URL：<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/ishikakuho/tiikiwaku.html>

なお、入学に当たっては、北海道知事に対し、北海道医師養成確保修学資金貸付条例に規定する必要勤務期間、知事が指定する公的医療機関等において医師として従事する旨の誓約書の提出が求められます。

## 5 入学者の選抜方法

### (1) 先進研修連携枠 (ATOP-M)

次のとおり2段階に分けて行います。

区分	選抜方法
第1段階選抜	入学志願者が募集人員の3倍を超えた場合、高等学校長又は中等教育学校長から提出された調査書及び推薦理由書の内容に基づいて、原則として募集人員の3倍の数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。
第2段階選抜	次の項目の結果を総合して合格者を決定します。 なお、推薦理由書及び調査書は面接の際の資料とします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大学入学共通テスト</li><li>・ 第2次試験 (総合問題・個人面接)</li></ul>

### (2) 特別枠

次のとおり2段階に分けて行います。

区分	選抜方法
第1段階選抜	入学志願者が募集人員の3倍を超えた場合、高等学校長又は中等教育学校長から提出された調査書、推薦理由書及び自己推薦書の内容に基づいて、原則として募集人員の3倍の数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。
第2段階選抜	次の項目の結果を総合して合格者を決定します。 なお、推薦理由書及び調査書は面接の際の資料とします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大学入学共通テスト</li><li>・ 第2次試験 (総合問題・個人及び集団面接・自己推薦書)</li></ul>

## 6 出願手続等

### (1) 出願期間

令和4年11月21日(月)～令和4年11月25日(金)まで

### (2) 出願方法

郵送に限ります。

「書留速達」郵便とし、令和4年11月25日(金)までに必ず到着するように発送してください。

出願期間後に到着した出願書類は、受理しません。また、直接持参しても受理できません。郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

### (3) 送付先

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学事務局学務課入試係  
電話011-611-2111(内線21830・21840)

**(4) 出願書類等**

出願書類の提出に当たっては、本学所定の「先進研修連携枠（ATOP-M）」、「特別枠」それぞれの用紙を使用してください。記入が必要な書類は必ず**ボールペン等の黒インク**を使用してください。消せるボールペンの使用は禁止します。

出願書類等	摘要				
<p>ア 入学願書</p>	<table border="1" data-bbox="411 398 1093 481"> <tr> <td>先進研修連携枠（ATOP-M）</td> <td>浅黄色</td> </tr> <tr> <td>特別枠</td> <td>びわ色</td> </tr> </table> <p>入学願書記入上の注意(17頁参照)、記入例を確認の上、必要事項をもれなく記入してください。</p> <p>写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きのカラー写真(縦4cm×横3cm)を貼ってください。</p> <p><b>大学入学共通テストの成績請求票は、出願時には貼付する必要はありません。</b></p> <p>なお、「令和5共通テスト成績請求票<b>推薦</b>国公立推薦型選抜用」を、大学入試センターから届き次第、各自用意した封筒に入れ、令和4年12月20日(火)までに「書留速達」にて本学まで郵送してください。</p> <p><b>【送付先】</b> 〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学事務局学務課入試係</p>	先進研修連携枠（ATOP-M）	浅黄色	特別枠	びわ色
先進研修連携枠（ATOP-M）	浅黄色				
特別枠	びわ色				
<p>イ 入学検定料 17,000円</p> <p><b>【納入期間】</b> 令和4年 11月14日(月) ～ 令和4年 11月25日(金)</p>	<p>添付されている専用の払込取扱票に必要事項を記入し、<b>郵便局で納付した上で、窓口で日附印を受けた「振替払込受付証明書」</b>（「大学提出用」と書かれているもの）を、入学願書の所定欄に貼付してください（日附印のない証明書は受理できません）。</p> <p>なお、払込手数料は払込者の負担となります。</p> <p><b>(注) 入学検定料の返還請求</b></p> <p>入学検定料の返還請求は、以下の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても納付済の入学検定料は返還しません。</p> <p><b>1 入学検定料返還請求ができる場合</b></p> <p>(1) 第1段階選抜の結果、不合格となった場合(13,000円を返還します。)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの受験科目が不足しているため、出願資格がないことが判明した場合(13,000円を返還します。)</p> <p>(3) 入学検定料を納入したが、入学願書を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合</p> <p>(4) 入学検定料を誤って二重に納入した場合</p> <p><b>2 返還請求方法について</b></p> <p>上記(1)の場合・・・第1段階選抜の結果を通知する際、返還手続に必要な書類を郵送します。</p> <p>上記(2)の場合・・・出願無資格者である旨を通知する際、返還手続に必要な書類を郵送します。</p> <p>上記(3)及び(4)の場合・・・本学ホームページに必要な書類や請求方法等の詳細を掲載します。</p> <p>なお、返還請求の際、払込済の振替払込受付証明書が必要になりますので、大切に保管してください。</p>				

ウ 推薦書 推薦理由書	<p>高等学校長又は中等教育学校長が記入し、厳封したものを提出してください（16頁参照）。</p> <p>推薦理由書については<b>本学所定の用紙または本学ホームページに掲載している推薦理由書様式のいずれか</b>をご使用ください。いずれにおいても出願書類とあわせて郵送により提出してください。</p> <p>本学ホームページに掲載している推薦理由書について、ダウンロードした<b>様式の罫線幅等の変更はしないでください</b>。変更された様式による提出は無効といたします。</p> <p>なお、手書き記入の場合はボールペン等の黒インクを使用してください。</p>
エ 自己推薦書 (特別枠のみ)	<p>本学所定の用紙に、<b>必ず自筆により、1,600字以内で記入してください</b>。(ボールペン等の黒インクを使用してください。)</p>
オ 確約書 〔先進研修連携枠 (ATOP-M)・特別枠〕	<p>先進研修連携枠(ATOP-M)・特別枠の確約書は様式が異なりますので留意してください。</p> <p><b>必ず自筆により、記入してください</b>。(ボールペン等の黒インクを使用してください。)</p>
カ 調査書	<p>高等学校長又は中等教育学校長等が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものを提出してください。</p>
キ 住民票等	<p><u>最終学年を含む3年以上継続して道内に在住していることを確認できる次の書類のいずれかを提出してください</u>。</p> <p>①住民票抄本(又は戸籍の附票)(出願前3ヶ月以内の原本)</p> <p>②高等学校等が発行する在籍証明書(※①による証明が困難な場合に限る)</p>
ク 封筒小 【第1段階選抜結果通知】・ あて名票	<p>第1段階選抜の結果通知に使用しますので、入学志願者の住所・氏名及び郵便番号を明記し、779円分の切手(書留速達料金を含む。)を貼ってください。</p> <p>また、あて名票に必要な事項を記載のうえ、同封してください。</p>

(注) 高等学校等コードを記入する出願書類は、「令和5年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内」57頁～75頁を参照して記入してください。

#### (5) その他

- ア 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- イ 出願書類は、受理した後いかなる理由があっても返還しません。
- ウ 入学願書の志願者氏名と調査書等の氏名が異なる場合は、同一人であることを証明できる書類(戸籍抄本等)を必ず添付してください。
- エ その他、本人確認のために必要な書類の提出を求める場合があります。

## 7 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

本学への入学志願者で、次表に該当する場合（学校教育法施行令第22条の3に準拠）は、受験上及び修学上の配慮が必要となることがありますので、令和4年10月21日(金)までに必ず本学事務局学務課入試係に電話等で問い合わせしてください。

必要に応じ、本学において、原則入学志願者及び保護者、又はその立場を代弁しうる者等との面談を行います。

ア	両眼の矯正視力が0.3未満の者又は視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者
イ	両耳の聴力レベルが60デシベル以上の者のうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度の者
ウ	肢体（上肢・体幹・下肢）不自由の状態により、立位もしくは座位の保持又は歩行することが不可能又は困難な者
エ	肢体（上肢・体幹・下肢）不自由の状態により、筆記又は実験・実習をすることが不可能又は困難な者
オ	慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
カ	身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度の者
キ	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者

問い合わせ先

札幌医科大学事務局学務課入試係 電話011-611-2111(内線21830・21840)

## 8 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

### (1) 先進研修連携枠（ATOP-M）・特別枠（5教科7科目）

教科	科目	科目等の選択方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	左記7科目から1科目選択（注）
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」 『倫理、政治・経済』	
数学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』	必須
理科	「物理」「化学」「生物」	左記3科目から2科目選択
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	左記5科目から1科目選択 (英語は、リスニングの成績も判定の対象とします。)

(注) 指定した科目数以上受験した場合は、第1解答科目を合否判定の資料として用います。ただし、第1解答科目で本学が指定した科目を受験しなかった場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定した科目を受験した場合でも、合格者にはなりません。

## 9 第2次試験の実施教科・科目等

### (1) 先進研修連携枠 (ATOP-M) ・特別枠

教科・科目等	科目等の選択方法
総合問題	必須
面接(注)	必須

(注) 総合問題を受験しなかった者は、面接試験を受験できません。

## 10 教科の配点

### (1) 先進研修連携枠 (ATOP-M)

教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200※	900

※ 英語の場合、筆記100点+リスニング100点=200点

ただし、リスニングを免除された者については、筆記試験の得点を2倍します。

(注) 大学入学共通テストの成績が、総配点900点中700点以上の者を入学候補者として選考の対象とします。

教科	総合問題	面接	大学入学共通テスト	計
第2次試験	400	400	400※	1,200

※ 大学入学共通テストは、総配点を400点に換算する。

(注) 面接により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、第2次試験の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

### (2) 特別枠

教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200※	900

※ 英語の場合、筆記100点+リスニング100点=200点

ただし、リスニングを免除された者については、筆記試験の得点を2倍します。

(注) 大学入学共通テストの成績が、総配点900点中700点以上の者を入学候補者として選考の対象とします。

ただし、大学入学共通テストの平均点が例年を大きく下回ることなどにより、上記による選考の結果、合格者が令和5年度医学部医学科入学定員の臨時増員(8名)に満たない場合にあっては、第2次試験の成績が上位の者から臨時増員数の範囲内で選抜することを考慮します。

教科	総合問題	面接	自己推薦書	大学入学共通テスト	計
第2次試験	400	400	100	400※	1,300

※ 大学入学共通テストは、総配点を400点に換算する。

(注) 面接により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、第2次試験の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

## 11 入試過去問題の活用

ア 本学は、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

イ 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

ウ 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。 <https://www.nyushikakomon.jp/>

## 12 第2次試験の実施日等

### (1) 先進研修連携枠 (ATOP-M)

試験日	教科等	実施時間
令和5年2月1日(水)	総合問題	10:00～12:00
	面接(個人)	13:20～

(注1) 集合時間は、午前9:00～午前9:40です。

(注2) 総合問題を受験しなかった者は、面接試験を受験できません。

### (2) 特別枠

試験日	教科等	実施時間
令和5年2月1日(水)	総合問題	10:00～12:00
	面接(個人及び集団)	13:20～

(注1) 集合時間は、午前9:00～午前9:40です。

(注2) 総合問題を受験しなかった者は、面接試験を受験できません。

### (3) 第2次試験の当日に持参する物

ア 札幌医科大学医学部受験票

イ 大学入学共通テスト受験票

(入学手続の際にも必要なので、紛失しないように注意してください。)

ウ 黒鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム・鉛筆削り

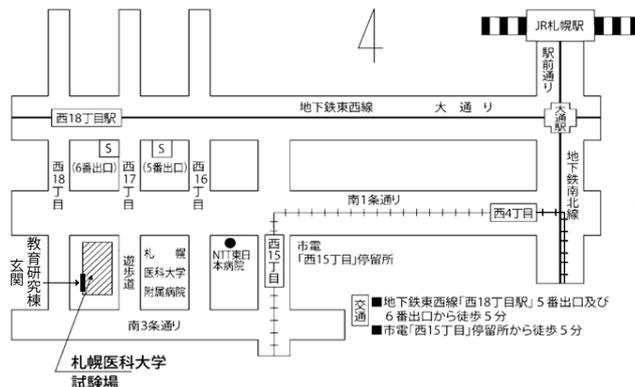
### (4) 試験場

札幌医科大学教育研究棟 札幌市中央区南1条西17丁目

教育研究棟玄関より入り指示に従ってください。

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。

受験票送付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。



(注) 試験場の下見は玄関前までとし、入場はできません。

最終頁、札幌医科大学建物配置図も参照してください。

### 13 学校推薦型選抜と一般選抜への出願

学校推薦型選抜の出願者は、本学の学校推薦型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。

ただし、大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、出願する大学・学部の指定するところによります。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、学校推薦型選抜の出願とは別に出願しなければなりません。

### 14 合格者の発表

区分	発表日時	掲示方法等
第1段階選抜	令和5年1月5日(木) 午前10時(予定)	本学ホームページ <a href="https://web.sapmed.ac.jp/">https://web.sapmed.ac.jp/</a> 大学情報センターのホームページ <a href="https://daigakujc.jp/sapmed/">https://daigakujc.jp/sapmed/</a>
第2段階選抜	令和5年2月14日(火) 午前10時(予定)	に掲載します。 (ホームページへの掲載は、午前10時以降となります。) ※大学構内への掲示は行いません。



ア 第1段階選抜の結果は、合格者の大学入学共通テストの試験場コード及び受験番号を発表するとともに、高等学校長又は中等教育学校長及び志願者全員に郵送により通知します。

なお、第2次試験を受験できる者には、受験票を送付し、第1段階選抜の合格通知に代えます。

イ 第2段階選抜の結果は、合格者の受験番号を発表するとともに、高等学校長又は中等教育学校長に選抜結果を通知し、合格者本人には「速達郵便」により合格通知書及び入学手続に必要な書類を送付します。

ウ いずれの場合も、可否に関する電話等での問い合わせには、一切応じません。

### 15 入学手続

#### (1) 手続期間

令和5年2月15日(水)～令和5年2月20日(月)

この期間内に入学手続きを完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

#### (2) 書類の提出方法

郵送に限ります。「書留速達」郵便により、令和5年2月20日(月)までに必ず到着するように発送してください。

手続期間後に到着した書類は、受理しません。郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

#### (3) 手続に必要な書類等

ア 札幌医科大学医学部受験票

イ 大学入学共通テスト受験票

ウ 入学料 282,000円(郵便振替により納入してください。)

※ なお、入学料は変更することがあります。

## 16 入学辞退

- ア 合格者が、特別の事情により入学を辞退しようとする場合は、推薦した学校長は、本学学長あての「**推薦入学辞退願**」(様式は自由)を、入学を辞退する理由を記載して令和5年2月20日(月)午後5時までに提出してください。本学学長が相当の理由があると認めた場合は、入学辞退を許可することがあります。
- イ 入学手続きを完了しない場合は、本要項「**17 受験に当たっての留意事項 オ**」の**入学の確約に違反したもの**として取り扱います。
- ウ 入学手続き完了後に入学を辞退した場合、納入した入学料及び提出書類等は、いかなる理由があっても返還しません。

## 17 受験に当たっての留意事項

- ア 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られており、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することができません。
- イ 学校推薦型選抜の合格者は、入学辞退の許可を得た者を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。
- ウ 合格者が入学手続き完了後、当該高等学校又は中等教育学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。
- エ **入学志願者については本要項に基づき学校長が推薦することに鑑み、特別な事情により第2段階選抜試験を辞退する場合は、必ず推薦を行った学校長より、その理由を記した「第2段階選抜試験辞退届」(様式は自由)を、令和5年1月20日(金)までに、本学学長に提出してください。**  
**その他、令和5年1月20日(金)以降、何らかの事情で第2段階選抜試験を辞退する場合は、必ず事前に本学事務局学務課入試係まで連絡してください。**
- オ 入学の確約に違反した場合は、翌年度以降の当該高等学校又は中等教育学校からの推薦を受理しないことがあります。  
ただし、合格後において特別の事情が生じ、高等学校又は中等教育学校から「推薦入学辞退願」が提出され、本学が許可した場合は、この限りではありません。
- カ 受験手続において虚偽又は重大な不備があった場合は、入学許可を取り消すとともに、翌年度以降の当該高等学校又は中等教育学校からの推薦を受理しない場合がありますので、十分注意してください。
- キ 学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の募集人員に加えます。
- ク 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、その教科・科目等の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 出願書類・解答用紙へ故意に虚偽の記入(入学願書や受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入することなど。)をすること。
- ② カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり、見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを含むウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、本要項(p.8)第7のキに従い事前相談してください)。

- ⑨ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

ケ 上記ク以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、クと同様です。

- ① 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを含むウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に着けていたり、手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

## 18 その他の留意事項

ア **天候、事故、その他の事情により交通機関が乱れることがありますので、時間には十分に余裕を持ち、遠隔地の受験者は早めに受験地に到着する等、ご注意ください。**

イ 試験場には駐車場はありませんので、必ず公共交通機関等をご利用ください。

ウ 試験当日は、午前9時から会場に入ることができます。

エ 保護者の控室は用意しておりません。

オ 試験室の下見はできません。

カ 試験場の建物及び本学敷地内は、全面禁煙です。

キ 受験者への宿泊施設の斡旋は行っておりません。

ク 受験票裏側に記載の「受験上の注意」をよくお読みください。

## 19 個人情報の取扱い

ア 国公立大学の合格者決定業務を円滑に行うため、可否及び入学手続等に関する個人情報が、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

イ 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守すると共に「北海道公立大学法人札幌医科大学が保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき管理します。

ウ 入学志願者から得られた出願書類に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜及び入学手続等の諸業務、入学者選抜方法等の調査・改善を行うために利用します。

エ 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・改善を行うために利用します。

## 20 修学のための費用

### (1) 入学初年度は、次の費用を必要とします。

- ・ 入学料 282,000円
- ・ 授業料 535,800円（年額：4月と10月の2期に分納）  
※ なお、上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
- ・ 教科書等 約80,000円～100,000円  
※ 金額は、毎年度異なります。

### (2) その他の費用

- ・ 共用試験（Pre-CC OSCE、CBT）受験料 25,000円（4年生）
- ・ 共用試験（Post-CC OSCE）受験料 20,000円（6年生）  
※ 金額は変更になる場合があります。
- ・ その他、実習で大学の外にある施設に配置された場合の宿泊費や交通費等の諸経費は、原則として自己負担になります。

## 21 札幌医科大学後援会について

「札幌医科大学後援会」は、本学の教育事業を後援し、その発展に協力することを目的とし、学生の福利厚生及び課外活動への支援等、平等かつ公平な事業内容に心がけ、次の事業を行っています。

なお、入学者の保護者の皆様には、特段の事情がある場合を除き、本会にご加入いただいています。

会費 医学部 200,000円

※ 原則として一括納入

### 事業内容

- ア 医学及び保健医療学専門書や国家試験関係図書を附属総合情報センター(図書館)に寄贈しています。
- イ 学生生活及び実習における事故や傷害等を補償する保険の保険料を助成しています。
- ウ 学生の海外派遣（語学研修・臨床研修）経費を助成しています。
- エ 学生の学外実習に要する経費及び必要な予防接種費等を助成しています。
- オ 国家試験受験料及び国家試験対策経費を助成しています。
- カ 大学祭等各種行事及びサークル活動に要する経費を助成しています。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認める事業を行っています。

## 22 その他特記事項（新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施内容等の変更等について等）

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、試験実施内容等を変更することがありますので、本学ホームページ等、本学からの発表にご注意ください。
- ・ その他受験に際しての留意事項等は、本学ホームページや受験案内等でお知らせしますので必ずご確認ください。

札幌医科大学ホームページ 入試情報

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/>

受験情報

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re830000005oi.html>



入学者選抜の変更等のお知らせ

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/eh6jpf00000005ab.html>



## 推薦理由書記入上の注意

### 1 医師あるいは医学研究者としての適性及び人物像

本学の学校推薦型選抜の趣旨を理解し、これを実践することのできる医師あるいは医学研究者として適していると言える理由などについて、エピソードを交えて具体的に記入してください。

性格、長所、短所などについて、エピソードを交えながら具体的な人物像が得られるように記入してください。

創造性、自主性、リーダーシップ、協調性、集中力、持続性などについて記入してください。

### 2 クラスあるいは課外における活動について、以下の2項目に分けて記入してください。

- ① 校外における活動状況（ボランティア活動など）及び学校を代表したスポーツあるいは文化的活動の状況
- ② 校内における文化的活動や体育活動における役割と活動状況及び各学年のホームルーム活動における役割と活動状況

※ 推薦理由書については本募集要項に綴られている**所定の用紙または本学ホームページに掲載している様式のいずれかを使用してください。**

札幌医科大学ホームページ 入試情報—受験情報—令和5年度学生募集要項  
<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000g8.html>

※ 本学ホームページに掲載している推薦理由書について、ダウンロードした**様式の罫線幅等の変更はしないでください。**変更された様式による提出は無効とします。

### 入学願書記入上の注意

- 志願者本人が自筆で黒のボールペン（消せるボールペンの使用は禁止します）で記入し、文字は丁寧に楷書で記入してください。
- 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に修正内容が明確に分かるように訂正してください。訂正印は不要です。
- ※印欄は記入しないでください。
- 機械処理を行うので、汚したり所定の折り目以外で折り曲げたりしないでください。
- 記載内容に不備がある場合は、受理しません。

#### ① 写真

- 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きのカラー写真（縦4cm×横3cm）を貼り付けてください。※個人の特が困難な画像（不鮮明、加工が施してある等）は使用できません。
- 写真の裏面へ必ず氏名を記入して貼り付けてください。

#### ② 志願者氏名 保護者氏名

- フリガナはカタカナで記入してください。
- 1文字を1マスに左詰めで記入してください
- 姓と名の間は1マス空けてください。

#### ③ 生年月日

- 年は西暦とし、月日が1桁の場合は前に「0」を記入してください。
- 年齢は令和5（2023）年4月1日での満年齢を記入してください。

#### ④ 性別

どちらかに縦線「|」を記入してください。（戸籍上の性別情報を記入してください。）

#### ⑤ 出願資格

- 高等学校等コードについては、「令和5年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内」に記載の高等学校等コード表を参照して記入してください。
- 卒業（見込）年については西暦とし、月が1桁の場合は前に「0」を記入してください。
- 高等学校名については、選択項目について、いずれか1つを選択して○で囲み、高校名を記入してください。

#### ⑥ 合格通知送付先

令和5年1月5日～令和5年3月31日の連絡先を記入してください。現住所と同じ場合は、「現住所と同じ」と記入してください。

#### ⑦ 電話番号（TEL 携帯）

市外局番、市内局番、番号の間にハイフン「-」を入れて左詰めで記入してください。

#### ⑧ 郵便番号

必ず記入してください。

#### ⑨ 現住所 保護者住所（マス枠なし）

- 次のように記入してください。省略せず正確に記入してください。
  - 1 段目： 都道府県、市区町村
  - 2 段目： 丁目、番地、号等
  - 3 段目： 建物名、部屋番号

#### ⑩ 現住所 保護者住所（マス枠あり）

- 次のように記入してください。
  - 1 段目： 都道府県、市区町村
  - 2 段目： 丁目、番地、号等
  - 3 段目： 建物名、部屋番号
- 左詰めで、1文字を1マスに記入してください。
- 段ごとに15マス設けていますが、マス数が不足する場合は15マスまで記入してください。

#### ⑪ 振替払込受付証明書添付欄

6頁(4) 出願書類等 イ 入学検定料 の摘要に従ってください。

# 〈記入例〉

令和5年度 札幌医科大学医学部

## 入学願書 (〇〇枠)

### 写 真

(全体このりをつけて貼ってください。)

- 縦4cm、横3cm  
上半身脱帽、正面向、  
出願前3ヶ月以内に  
単身撮影したもの。  
①
- 写真の裏面へ氏名  
を記入して貼り付  
けてください。

受験番号	※		※	
	記入しない		記入しない	
フリガナ	サ ツ イ ダ イ タ ロ ウ			
志願者名	漢字 札 医 大 太 郎			
生年月日	西暦	年	月	日
	2	0	0	4
	0	5	0	1
	(18歳)			性 別
				<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
出願資格	高等学校等コード(右詰め)	卒業(見込)西暦	年	月
	0	1	2	3
	4	A	2	0
	2	2	0	3
	1	1. 卒業見込 2. 卒業		
保護者フリガナ	サ ツ イ ダ イ イ チ ロ ウ			
保護者名	漢字 札 医 大 一 郎			

合格通知送付先
〒 060-8556
住所 北海道札幌市
中央区南1条西17丁目
sapmedマンション101号室
氏名 札医大 太郎
上段: TEL 下段: 携帯
0 1 1 - 6 1 1 - 2 1 1 1
0 8 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8

⑪

振替払込受付証明書貼付欄

○ 検定料の振替払込受付証明書(「大学提出用」と書かれているもの)をこの欄のりですっきりと貼り付けてください。

○ 必ず郵便局の窓口で日附印の押印を受けてください。

○ 振替払込受付証明書に郵便局の日附印が押されていない場合は、願書の受付はできません。

郵便番号	0 6 0 - 8 5 4 3	⑧
現住所	北海道札幌市中央区	⑨
	南1条西16丁目291番地	
	sapmed西16丁目アパート501号室	
現住所	北 海 道 札 幌 市 中 央 区	⑩
	南 1 条 西 1 6 丁 目 2 9 1 番 地	
	S a p m e d 西 1 6 丁 目 ア パ ー ト	
電話番号	0 1 1 - 6 8 8 - 9 4 7 4	⑦
	上段: TEL 下段: 携帯 0 8 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8	
保護者郵便番号	0 6 0 - 8 5 5 6	⑧
保護者住所	北海道札幌市中央区	⑨
	南1条西17丁目	
	sapmedマンション101号室	
保護者住所	北 海 道 札 幌 市 中 央 区	⑩
	南 1 条 西 1 7 丁 目	
	S a p m e d マ ン シ ョ ン 1 0 1 号	
保護者電話番号	0 1 1 - 6 1 1 - 2 1 1 1	⑦
	上段: TEL 下段: 携帯 0 9 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8	

備考1	
備考2	
備考3	
備考4	
備考5	
備考6	

※ 記入しない



## 確 約 書

札幌医科大学長 様

参照用

令和 年 月 日

現 住 所 \_\_\_\_\_

志願者氏名 (自署) \_\_\_\_\_ (印)

生 年 月 日 平成 年 月 日

私は、貴大学医学部医学科 学校推薦型選抜（先進研修連携枠(ATOP-M)）の趣旨を理解した上で入学を希望し、入学を許可された後は、卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で、初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する国内外の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事し、北海道の医学・医療において指導的・中核的役割をにええる医師の育成を目指した所定のプログラムを受けることを確約します。

なお、これに伴い、貴大学が卒業後から所定のプログラム修了までの間、私の勤務先（病院等）を把握することを承諾します。

令和 年 月 日

現 住 所 \_\_\_\_\_

保護者等氏名 (自署) \_\_\_\_\_ (印)

生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日

上記の確約を行う事を承諾するとともに、確約を堅く遵守させます。

学校推薦型選抜 特別枠

受験番号

※

# 確 約 書

札幌医科大学長 様

参照用

私は、北海道医師養成確保修学資金貸付制度を承知し、札幌医科大学を卒業後、道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を知事が指定する道内の公的医療機関等に勤務することを確約します。

令和 年 月 日

志願者氏名（自筆）

⑩

生年月日 平成 年 月 日生（ 歳）

札幌医科大学長 様

私は、志願者 が、北海道医師養成確保修学資金貸付制度を承知し、札幌医科大学を卒業後、道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を知事が指定する道内の公的医療機関等に勤務する旨確約することを確認しました。

令和 年 月 日

保護者等氏名（自筆）

⑩

志願者との関係

23 令和7年度札幌医科大学入学者選抜における利用教科・科目について（予告）  
（令和5年度入学者選抜からの変更点ではありませんので、ご注意ください）

1. 令和7年度大学入学共通テスト（令和7年1月実施）から新学習指導要領に対応した出題教科・科目に変更されることに伴い、医学部学校推薦型選抜における利用教科・科目については次のとおりとします。旧教育課程履修者に対する経過措置として、新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。 ※科目変更箇所は下線部分。

○ 医学部医学科 学校推薦型選抜

教科	科目	科目の選択方法
国語	『国語』	必須
地理歴史 ・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合、歴史総合、公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』  (旧教育課程履修者に対する措置) 「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』	(第1解答科目)(注1)
数学	『数学Ⅰ、数学A』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	必須
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』(注2)  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ・旧数学B』	必須
理科	『物理』『化学』『生物』	左記の3科目から2科目選択
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	左記の5科目から1科目選択(英語はリスニングの成績も判定の対象とします。)
情報	『情報Ⅰ』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報(仮)』	必須

(注1) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用します。

なお、地理歴史・公民における2科目の選択方法は、文部科学省の定めに倣います。

(注2) 『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容(数列、統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

2. その他

配点等の詳細については検討中です。決定した内容は本学ホームページにてお知らせします。

なお、内容は現時点のものであり、今後引き続き検討を加えた結果、変更することがありますので本学からの発表にご注意ください。